

東急新横浜線の加算運賃について

東急新横浜線につきましては、神奈川東部方面線の一部として、2023年に新横浜駅から日吉駅までが開業いたしました。

新線建設に伴う設備投資額等の回収に充てるため、東急新横浜線新横浜駅から新綱島駅の区間、または同区間と他の区間をまたがって乗車する場合は、以下の通り加算運賃を頂いており、2022年度末における状況は下表のとおりです。

普通旅客運賃（大人）	70円
通勤定期旅客運賃（大人1か月）	2,620円
通学定期旅客運賃（大人1か月）	970円

	累計	2022年度
開業時設備投資額（A）	185億円	—
施設使用料、支払利息等（B）	0億円	0億円
加算運賃収入（C）	0億円	0億円
基本運賃収入からの回収累計額（D）	0億円	0億円
回収率(C+D)/(A+B)×100	0.3%	—

当該区間は2023年3月に開業し、相鉄新横浜線との相互直通運転を開始することにより、神奈川県央部および横浜市西部と東京都心部が直結し、広域鉄道ネットワークの形成と機能の高度化がなされ、所要時間の短縮や乗換回数の減少など、鉄道の利便性向上に寄与するとともに、新幹線へのアクセスの向上を図っております。

今後も引き続き利便性の向上を図るべく、努力してまいりますので、当該区間をご利用のお客さまにおかれましては、加算運賃のご負担について、引き続きご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上

東急新横浜線の加算運賃について

(別紙)

【加算運賃に係る資本費コスト及び回収額】

(単位：百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度までの累計額
A 設備投資額	18,513					18,513
B 施設使用料・支払利息等					17	17
C 加算運賃収入					51	51
D 基本運賃収入からの回収額					2	2
年度末累計額による回収率※					0.3%	0.3%

※(C+D)/(A+B)×100

【鉄道事業収支】

(単位：百万円)

		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
営業収入	旅客運賃					120,341
	運輸雑収					15,056
	計					135,397
営業費用	人件費					39,210
	修繕費					10,102
	その他経費					37,423
	諸税					6,702
	減価償却費					34,335
	計					127,772
営業損益						7,625
営業外収益						25
営業外費用						5,895
経常損益						1,755
特定都市鉄道整備準備金取崩額						2,510
法人税等（調整額含む）						2,101
当期純利益						2,164
配当所要額						-
最終損益						2,164

基本運賃収入割合	全線					120,290
	加算区間					96
	比率					0.1%

加算区間に係る按分額（鉄道事業最終損益×基本運賃収入割合（損失の場合は0））

基本運賃収入からの回収額						2
--------------	--	--	--	--	--	---